

2019年10月16日

輸送動向について（2019年度上半期）

1. 輸送概況

コンテナは、前年に「平成30年7月豪雨」等の大規模な災害が発生した影響により、すべての品目で前年を上回った。関西・東北地区をはじめ各地で鉄道へのシフトが進む積合せ貨物、東海・九州地区間での新規輸送等が好調な自動車部品、関東地区内の建設発生土輸送が順調に推移したエコ関連物資が大きく前年を上回った。一方で清涼飲料水が7月の気温が低く推移し需要減となった食料工業品、各地で昨年度産の民間流通米が在庫薄となった農産品・青果物は大幅な増送にはならなかった。またゴールデンウィークおよび盆休期が長期連休となり稼働日が減少したことも重なり、コンテナ全体では前年比112.4%となった。

車扱は、石油が4月の気温が低く推移したことに伴う灯油の需要増および増税前の駆け込み需要増により、好調な荷動きとなった。車扱全体では前年比101.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比109.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	10,419	9,269	112.4%
車扱	4,027	3,975	101.3%
合計	14,447	13,244	109.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	777	707	70	109.9%
	化学工業品	947	860	87	110.2%
	化学薬品	676	600	76	112.6%
	食料工業品	1,794	1,700	94	105.5%
	紙・パルプ	1,302	1,199	103	108.7%
	他工業品	749	672	77	111.5%
	積合せ貨物	1,412	1,191	221	118.5%
	自動車部品	451	336	115	134.4%
	家電・情報機器	211	183	28	115.8%
	エコ関連物資	289	208	81	139.0%
	その他	1,810	1,613	197	112.2%
	コンテナ計	10,419	9,269	1,150	112.4%
車扱	石油	2,679	2,620	59	102.3%
	セメント・石灰石	654	663	-9	98.6%
	車両	403	388	15	104.0%
	その他	290	304	-14	95.5%
	車扱計	4,027	3,975	52	101.3%
合計	14,447	13,244	1,203	109.1%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)